

標 題 : The Mediterranean Diet Pattern and Its Main Components Are Associated with Lower Plasma Concentrations of Tumor Necrosis Factor Receptor 60 in Patients at High Risk for Cardiovascular Disease
地中海食事パターンおよびその主成分は心臓血管系疾患リスクが高い患者で TNF(腫瘍壊死因子)レセプター60 の低い血漿濃度と関連する

著 者 : M. U-Sarda, et al. (スペイン バルセロナ大学 附属病院 内科)

掲 載 誌 : J. Nutr. 142 (6): 1019-1025 (2012)

要 旨 : 地中海食事の順守は冠状動脈性心疾患のリスク低下と関連する。しかし、作用する分子メカニズムは完全には理解されていない。

この研究の目的は、動脈硬化発症と関連する血中の炎症性バイオマーカーに対する地中海食事 2 種類の影響を低脂肪食事と比較することであった。

「地中海食事による予防研究」の参加者 516 人をランダムに 3 介入群に分けた〔バージンオリーブ油による地中海食事、ミックスマッツによる地中海食事、および低脂肪食事〕。

開始前と 1 年後に、参加者は食事頻度および地中海食事順守のアンケートにすべて答え、細胞間接着分子-1(ICAM-1)、IL-6 および 2 種類の TNF レセプター (TNFR60 と TNFR80) などの炎症性指標 ELISA 法で測定した。

1 年後に地中海食事群は、IL-6 および 2 種類の TNF レセプター (TNFR60 と TNFR80) の低い血漿濃度を有したが ($P < 0.05$)、ICAM-1、TNFR60 と TNFR80 の濃度は低脂肪食事群で上昇した ($P < 0.002$)。

群間の差のために、2 種類の地中海食事群の参加者は低脂肪食事群と比較して ICAM-1、IL-6、TNFR60 と TNFR80 の低い血漿濃度を有した ($P = 0.028$)。

1 年間の食品摂取変化で参加者を 3 段階に分類すると、バージンオリーブ油および野菜の最高変化群は最低群と比較して低い血漿 TNFR60 濃度を有した ($P < 0.02$)。

その上、TNFR60 幾何平均の 1 年間変化と関連する摂取量変化は、バージンオリーブ油と野菜だけであった ($P = 0.01$)。

心臓血管系疾患リスクが高い患者で地中海食事が TNFR 濃度を低下させると、この研究が示唆している。
